

第1期 好評発売中

ドキュメンタリー映像集成 文化・記録映画でよむ現代日本

戦前から戦後へ 民主主義と科学映像の系譜

ドキュメンタリー映像集成 第1期 BOX(全12巻セット) ¥315,000(税込 ¥300,000) ISBN4-87766-910-8 KKCL-25

分売 ※ディスク毎の分売が可能です。各巻 ¥31,500(税込 ¥30,000)

シリーズ1：帝国の現実と社会―「文化映画」の時代

DISC.1 中国大陸の戦火 ISBN4-87766-912-4 KKCL-42 開拓突撃隊 鉄道自警村移民記録 (1973年 13分) 支那事変後方記録・上海 (1938年 77分)

DISC.2 暮らし総力戦へ ISBN4-87766-913-2 KKCL-43 雪国 (1939年 38分) 機関車 C57 (1941年 44分) 或る保婦の記録 (1942年 35分) わたし達はこんなに働いている (1945年 18分)

DISC.3 アジアのなかの日本文化 ISBN4-87766-914-0 KKCL-44 舞臺 (1937年 11分) 人形製作 (1937年 17分) 娘々齋会 (にやんにやんみゃおほい) (1939年 20分) 室生寺 平安時代初期の美術 (1940年 13分) 法隆寺 (1943年 37分) 小林一茶・信濃風土記より (1941年 27分)

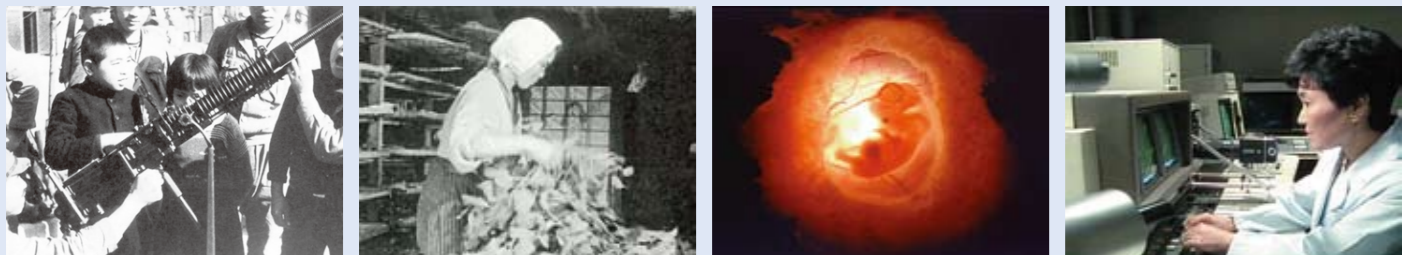
DISC.4 科学と技術 ISBN4-87766-915-9 KKCL-45 黒い太陽 (1936年 19分) 雪の結晶 (1953年 20分) 或日の干瀬 (1940年 17分) 湖州大豆 (1938年 22分) 爆風と弾片 (1944年 45分)

シリーズ2：占領と、民主主義の新しい「教育映画」へ

DISC.5 復興へ向かう生産と労働 ISBN4-87766-916-7 KKCL-46 炭鉱 (1947年 33分) 海に生きる (1949年 33分) めがものたり (1949年 17分) 青果市場 (1950年 18分) 流れ作業 (1950年 18分)

DISC.6 農村の現実・自立する女性たち ISBN4-87766-917-5 KKCL-47 日本の稲作 (1954年 50分) ひとりの母の記録 (1955年 39分) 町の政治 べんきょうするお母さん (1957年 30分)

DISC.7 子どもたちと民主主義 ISBN4-87766-918-3 KKCL-48 こども議会 (1947年 18分) はえのない町 (1951年 12分) 月の輪古畑 (1954年 29分) 教室の子供たち 学習指導への道 (1954年 29分) 九十九里浜の子供たち (1956年 32分)



第2期

ドキュメンタリー映像集成 文化・記録映画でよむ現代日本

高度成長期の産業と社会 歴史と文化の再発見

ドキュメンタリー映像集成 第2期 BOX(全12巻セット) 特価 ¥315,000(税込 ¥300,000) C0800 ISBN 978-4-86271-489-3 KKCL-225

分売 ※ディスク毎の分売が可能です。各巻 ¥31,500(税込 ¥30,000)

シリーズ4：高度成長期の産業活動

13 礎としての電源開発 (全2作品) 約134分 C0800 ISBN 978-4-86271-490-9 KKCL-226 14 新しい鉄が拓いた世界 (全3作品) 約128分 C0800 ISBN 978-4-86271-491-6 KKCL-227 15 技術立国を支えた人びと (全4作品) 約119分 C0800 ISBN 978-4-86271-492-3 KKCL-228 16 国土を変える鉄道と道路 (全4作品) 約125分 C0800 ISBN 978-4-86271-493-0 KKCL-229 17 食生活・生産と流通の変貌 (全4作品) 約123分 C0800 ISBN 978-4-86271-494-7 KKCL-230 18 技術開発への挑戦 (全5作品) 約142分 C0800 ISBN 978-4-86271-495-4 KKCL-231

シリーズ5：高度成長期の社会と人間

19 変わる環境と健康の危機 (全5作品) 約128分 C0800 ISBN 978-4-86271-496-1 KKCL-232 20 労働と人生 (全3作品) 約105分 C0800 ISBN 978-4-86271-497-8 KKCL-233 21 消えていく暮らしと技 (全4作品) 約144分 C0800 ISBN 978-4-86271-498-5 KKCL-234

シリーズ6：歴史と文化の再発見

22 村の文化の再発見 (全3作品) 約122分 C0800 ISBN 978-4-86271-499-2 KKCL-235 23 町に思づく歴史と文化 (全3作品) 約134分 C0800 ISBN 978-4-86271-500-5 KKCL-236 24 美への新たな視点 (全4作品) 約138分 C0800 ISBN 978-4-86271-501-2 KKCL-237

著作権 処理済

本ディスクの映像・音声ならびにパッケージに関する全ての権利は著作権者が有しており、無断複製、改変、公衆送信 (放送、有線放送、インターネットなど) をすることは法律で禁止されています。本ディスクは、学校・公共施設での個人を対象とした視聴・貸出・無償上映に関して、許可されています。

好評発売中

財団法人 ポーラ伝統文化振興財団 伝統の技と心 第2集 全10巻セット. Includes a list of 10 discs with titles like '研究紹介の泉の世界' and '重要無形文化財 職意匠に生きる'.

財団法人 ポーラ伝統文化振興財団 伝統の技と心 全10巻セット. Includes a list of 10 discs with titles like '伝統工芸のわざ 伝統芸術の秘、民俗芸能・行事の心の記録' and '重要無形文化財 職意匠に生きる'.

商品についてのお問い合わせ先 紀伊國屋書店 映像情報部 〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10 Tel.03-6910-0530 Fax.03-6420-1368 http://www.kinokuniya.co.jp

ドキュメンタリー映像集成 文化・記録映画でよむ現代日本

第2期 高度成長期の産業と社会 歴史と文化の再発見



著作権 処理済

監修の言葉

映画史資料を超える現代史資料を目指して 吉原順平 映像・展示計画

第1期の12ディスクを送り出してからほぼ5年が経過しようとしている。この間、現代史資料としての文化・記録映画などドキュメンタリー映像への関心が高まって、さまざまな復刻DVDが刊行され、映像資料へのアクセスの選択肢は大幅に広がった。記録映画保存センターが発足し、東京大学・東京芸術大学・東京国立近代美術館フィルムセンターと連携して活動を展開しているのも、関心の高まりの現れであろう。第2期の編集に当たっては、こうした状況変化を踏まえ、次の2点を特に重視した。第一は、映画史資料を超えて現代史資料を目指すというスタンスをより明確化したことである。映像作品としての評価を基準とした名作集ではなく、それぞれの時代の日本の現実・課題・思潮をより具体的に描くために役立つ映像を目指してリストを見直した。例えば基幹産業の鉄鋼業だが、製鉄所の活動を流麗な映像で描く作品ではなく、当時の鉄鋼業の状況をより詳しく伝えている建設記録を選んだ。

第二は、映像資料へのアクセスの選択肢の広がりを積極的に捉え、他社シリーズや単体で発売されている作品も併せて参照する立場から、リストを見直した。関連作品を求める手がかりとして、取り敢えず解説を充実し、収録作品が生まれる前後の時代背景、例えば技術進歩の流れなどの説明を試みている。映画史的にはあまり知られていない作品が、思いがけず当時の社会の動きの裏を映している事例を、監修の仕事を通じて幾度も経験してきた。

日本のドキュメンタリーが描き出す社会の現実と希望 原田健一 映像メディア研究者

『ドキュメンタリー映像集成』第2期がいよいよ刊行されることになりました。この第2期は、第1期を引き継ぎ、体系的なテキスト集として、今日の多様な映像状況をふまえ、社会的な視野からは幅広く映画を捉えて編集しました。その意味で、従来の産業映画、PR映画、記録映画、教育映画、文化映画といったジャンル分けによるものや、名作といわれているものも作品集とは違った、セレクションとなっています。日本社会は1945年の敗戦後、占領され、大きな社会変革を経験しましたが、短編映画業界も同様に大きく再編され、アメリカ的な教育映画やPR映画のシステムが導入され、産業映画が展開し、1950年代後半から約30年間は、短編映画が盛んに製作され、実りある多くの作品を生み出しました。

ところで、映像は、ただ単に、目の前の社会、文化の現実を記録するだけでなく、作る人間と見る人間が共有する、その時代の要請や希望、あるいは理想といったものを映し出すものでもあります。この30年間の映像には、日本人の多くが、敗戦の反省のなかで、科学や民主主義、あるいは物質の豊かさを求めるアメリカニズムを受け入れ、映像にも圧倒的な機械の力や、科学的な知識や態度、あるいは豊かな経済性を表現としてあらわそうとしました。また、その一方で、こうした急激な経済成長や社会の変化のなかで、失われゆく文化や、社会のひずみに目を向けようともしました。集成された映像からは、こうした日本社会と文化の矛盾が生み出す複雑な現実や、人びとの思いが見えてきます。是非、映像から読み解く、社会と文化、そして人を考えるテキストとして、この『映像集成』を活用し、発展させていただければと思います。

撮影対象が身近な世界となった 渡部 実 映像評論家

ドキュメンタリー映像集成第2期は前回の第1期『戦前から戦後へ/民主主義と科学映像の系譜』に対して撮影対象が戦後の1950年代末期から80年代末期に製作された作品が並んでいる。これによって鑑賞者の世代に近い日本社会がドキュメンタリー映像によって蘇る。いよいよこの集成も今日的な題材を扱った作品群によって、高度経済成長期の社会とはいかなるものであったかを映像によって具体的に捉える面白さが倍増した。

時代の流れは速いもので、今回のシリーズ4「高度成長期の産業活動」に登場する「佐久間ダム 総集編」、「海に築く製鉄所」といった大規模な建設記録の作品は今日、もはや望めない。その一方、この時代は短編映像を製作してきた岩波映画製作所、東京シネマ新社、カジマビジョン等の製作プロダクションの個性と主張がはっきり見えてきた時代でもあった。言うなれば文化・記録映画というものが、科学や美術、人間の伝統といったものを描きつつ、たえず一般の視聴者にとって案内役であることを自覚し、視聴者と共に歩んで行くという善き関係があったのだ。シリーズ5「高度成長期の社会と人間」に登場する「有明海の干潟漁」はその好例で環境への取材、伝統の漁法、新しい世代への伝承の希望といったものが、この一本にすべて取められている。またシリーズ9「歴史と文化の再発見」での「山雲海聲 東山魁夷 唐招提寺障壁面の記録」は現代における日本美術の紹介であると共に東山魁夷と棟方志功という今は亡き2人の芸術家の人間の記録として貴重な作品である。この第2期によって視聴者がさらに記録・文化映画に親しまれることを望みます。

『ドキュメンタリー映像集成』全体構成の考え方 ※全体を3期に分けて刊行する計画です。

Table with 3 columns: 第1期 (全12巻) 戦前から戦後へ 民主主義と科学映像の系譜, 第2期 (全12巻) 戦後60年・時代の心を映した作品を探る, 第3期 (全6巻) 高度成長期に盛んに製作された「文化映画」作品、占領時代を中心とした民主主義思想の普及の為に製作された「教育映画」、戦後早くも国際的評価を獲得した「科学映画」とその後の展開を収録。(2011年1月発売)